

リコー三愛グループ

三愛会 会誌

No.157 2016

特集

創立70周年記念

リコーグループ
 三愛石油グループ
 コカ・コーラウエストグループ
 リコー三愛グループ健康保険組合
 公益財団法人新技術開発財団
 リコー三愛グループ安全会
 三愛会



市村清の生涯

三愛精神

三つの愛のハーモニー

三愛会 70年の歴史

三愛会 歴史トピックス

CONTENTS

三愛会創立 70 周年記念

創業者 市村清と アップル社創業者 スティーブ・ジョブズ 三愛会会長 近藤史朗	2
「三愛会」の歩み そしてこれから	3
10分でたどる 市村清の生涯	4
三愛精神 三つの愛のハーモニー	6
Pick up 市村語録	8
三愛会 70 年の歴史	10
Select 15 三愛会 歴史トピックス	14
三愛会組織図	18
三愛会創立 70 周年記念 作文大募集のお知らせ	19
テーマ「市村清とわたし」 「わたしにとっての三愛精神」	
Group Information	20
三愛会プラザ	25

表紙の言葉

三愛会創立 70 周年おめでとうございます。
美術館で絵を見るように、ベテランの方もこれからの方も
歴史を楽しく振り返っていただければと思います。

(作者 佐田みそ)

三愛会創立70周年記念

創業者 市村清と

アップル社創業者 スタイーブ・ジョブズ

三愛会会長 近藤 史朗



二人の創業者の話をしよう。半世紀以上時代の離れた、また日本と米国、国も文化もまるで異なる二人の天才が遺した言葉や体験には驚くほどの共通点がある。市村は日本で起業しリコー三愛グループという企業群を残し、ジョブズはアップル社及び現代の社会インフラとなるイノベーションを起こした。

二人の創業に至る経験は、その困難さにおいて私達の想像をはるかに超えるものだっただろう。市村の過ごした少年時代の過酷さは彼の残した著作の中で知ることができる。その事は彼の生涯の中で、その生き方、故郷佐賀への献身、事業、家族、社員への思いの中で結実した。三愛会は市村の思いを共有し後々の世代にも引き継ぐべきものである。

市村は昭和33年（1958年）石原慎太郎氏との「新しい商品の開発」という対談で、「新しいものをやる時に市場調査なんかやることは無い」と述べている。「人間というものはいかなる場合でも不平不満を抱いている」「人間というものは絶対に現状に満足しないもの」「不平不満は何を求めているかという事、飛躍させるとどういう夢を持っているかにつながる。でもその夢は自分で気付いていない。それを発見できるかが一番の勘所」と述べている。それは科学的ではないし、科学（理論）では発見できないものと述

べている。新しい需要、市場を創ろうとしているのに、市場調査などしても「経験」を持たない顧客に対しては意味が無い、価値が分からないでしょうと言っているのである。

同じくジョブズも「どんな市場調査がきっかけでiPadの開発に至ったのか？」という質問に対して、「そんなもの（市場調査）は無い、自分が欲しいものを知るのは消費者の仕事ではない」と答えている。またiPhone（スマートフォン）の開発に際しては、自分の母親が携帯電話を使い難いと言っている事にヒントを得たとしている。

市村もジョブズも半世紀隔てて「不平不満がアイデアの源泉である」、言い換えればイノベーションの源泉であることを示唆している。

イノベーションは演繹的な思考（理論的に命題に当てはめるため新発見が無い）からは産まれない。帰納的な思考（集めた事実から共通な命題を導くので新発見の可能性がある）から産まれる。市村はアイデアを人に学ぶとも述べているが、最初の言葉は「俺はこの商品のここが問題（不満）だと思いが皆どう思うか？」から始まっている。iPhoneも最初は「何も新しい技術は無い」と評価されなかったが、実際使ってみるとアプリの充実もあって大ヒットし、既に社

会インフラになり世界を席卷し続けている。それは手法はともあれ不満の中に新しい夢、未来を感じ取ることでも産み出したものである。「電話はこういうものである」という既成概念の枠から飛躍できなければ産まれないのである。ジョブズも市村も同じ思いでこれらの言葉とイノベーションを私達に遺したと思う。

翻って市村に続く三愛会所属会社の私達はどうあるべきであろうか。市村は仕事を通して世の中のために、人のために、家族や会社のためにという一心でこの企業群を起し、これを未来に引き継いで欲しいとの思いで「三愛精神」というステートメント（宣言）を遺した。

このステートメントには、時代に流されること無く100年、さらにその先でもその精神を引き継ぎ、未来に向けてイノベーションを起こし続けて欲しいという市村の思いがこめられている。そして三愛会企業群にはこれからも世界の人々に貢献する企業グループであり続けて欲しい、これこそが創業者市村清の願いだと信じる。

『人の行く裏に道あり花の山』市村清 座右の銘

「三愛会」の歩み そしてこれから

発足

『従業員は事業の協力者である。信条とする三愛主義を徹頭徹尾貫いて、彼らが勤めを楽しい面白いこととして愛するように導いていきたい。そして、働くことに何の心配もつきまとわれない、世界のどこにも類例のない独特の「市村産業団」というものを作り上げていきたい』

創業者・市村清は、創業当時から抱いていたこの思いを実現するためには、各社相互の連携を図ることが大切だと考え、1944(昭和19)年8月、市村が創業した理研光学工業、理研特殊製鉄など7社で、三愛会の前身である「自蹊会」を設立しました。

そして終戦翌年の46(昭和21)年4月4日、「自蹊会」を「三愛会」と改称し、その目的を「傘下各社の連絡統制を図り関係事業の助長を期する」としました。

同年12月、機関誌『三愛』（現『三愛会会誌』）を創刊し、誌上で「三愛精神」（人を愛し 国を愛し 勤めを愛す）を発表しました。

グループ各社とその社員たちが三愛会や機関誌『三愛』を介して強い絆で結ばれること、それが市村の望みでした

目的

68年(昭和43)年12月16日、市村は急逝しました。

後を託された館林三喜男第二代三愛会会長は、翌年12月、新たな三愛会の目的を、「本会は、創業者市村清の経営理念である三愛精神『人を愛し 国を愛し 勤めを愛す』を基盤とするリコー三愛グループ各社をもって構成し、創業者の遺志を尊重して会員会社相互の発展と団結、な

そしてこれから

らびにグループのイメージアップをはかることを目的とする」と定めました。

三愛会の目的は今も変わらず引き継がれています。

活動

時代を経るに従い、三愛会はその時代の環境変化に合わせて、活動を変えながら今日に至っています。

リコー三愛グループの経営統制活動に重きを置いた時代、グループ共通の福利厚生活動に重きを置いた時代、グループ各社間のコミュニケーションに重きを置いた時代、グループ外へのPR活動に重きを置いた時代などさまざまな時代を経て来ました。

その間、変わらず大切にされた活動は、創業者・市村清を顕彰する活動と、「三愛精神」を次の世代につなげる活動でした。

これから

創立70周年を迎えて、三愛会は変わらず大切に活動と新たな一歩を踏み出す活動に取り組めます。

まず、市村清顕彰活動と、「三愛精神」を次の世代につなげる活動はこれからも続けていきます。

そして、「会員各社が共同で取り組む活動を通して、社会的価値を提供し、より強い絆を築く」こと、それが新たに踏み出す一歩です。

これらの活動を通して、リコー三愛グループ各社および社員間の絆を深めるとともに、グループ外からの信頼と好感を得ることを目指します。



三愛会マーク
三愛精神の「愛」をアルファベットの「i」に表現し、文字の下をつなぐリコー三愛グループの強い団結を表現
1966年に制定
三愛会会員会社社員によるデザイン



市村が使用していた机は今も三愛会会長室に置かれている

市村清の

生涯



清水 崑・画

成績優秀ないたずら好き

1900(明治33)年4月4日、市村清は佐賀県の貧農の家に生まれた。

士族の出である父は自負心が強く、子供にも非常に厳しかったが、仕事は長続きせず、生活は常に困窮を極めていた。

小学2年生の頃、祖父が進学の元手にと雌の子牛を1頭買ってくれた。「この牛を育てれば、次々に子を産む。それを売って学費にすればいい」というわけだ。

清は、わずかな小遣いも餌代に当て、遊ぶ間も惜しんで飼料の草やイモのつるなどを刈り集めたり、夢中になって牛の世話をした。

ところが、ある日、この牛が税金のカタに持って行かれてしまう。祖父は「お国で決めたことだから我慢せい」となだめるが、10歳の子供に分かるはずもない。世の中の不合理に対する反抗心は、このときに芽生えたのかも知れない。

こんな貧しい環境であったが、小学校の成績は常にトップで、遊びやいたずらでもりーダー格。いたずらに怒って追い掛けてきた先生を、丸木橋を外して川に落としたりしたこともある。

佐賀中学を中退して 銀行に就職

伯母夫婦の援助で県立佐賀中学に入学したが、学費を援助される身はつらいことも多かった。情けなく悔しい思いが募り、とうとう中学を退学し、家に戻った。家計を助けるために野菜売りを手伝うが、事情を知らない旧友たちが「清さんは中学に行ったんじゃないの」とささやいているのを聞くと、自分の姿がみじめで、たまらなく恥ずかしかった。

そんなとき、共栄貯蓄銀行で事務見習いを募集していると知って、応募し、見事に合格。それから2年、給仕のような仕事を続けた。その間に痛切に感じたのは、やはり勉強をしなければ一人前の世渡りはできないということであった。東京へ行って、勉強がしたい、その思いを恐る恐る支店長に伝えると、意外なことに、本店への転勤が認められたのである。

青雲の志を抱いて東京へ

19年、上京して本店勤務になる。現金運搬のときに乗る人力車の中や、銀行で待っている間にも学習書を読み、翌年、中央大学の夜間部に入學した。

東京の生活も貧乏の極みであったが、他人の世話にはならないと誓い、水だけ飲んで過ごすこともまれではなかった。

大学2年のとき、資本主義にある不合理から貧富の差が激しくなり、それを改革するために共産主義が起ったという講義を聴いて、衝撃を受け、共産主義に傾倒。一方で、故郷の父母のことを思い、考え悩む日が続いた。当時、共産主義の実践運動は当局の弾圧下にあったからだ。

そんなジレンマの中で、清は結核を患い、今度は死の恐怖にとりつかれてしまった。抵抗療法を強行して病気を克服。同時に精神の健康も取り戻していた。

保険外交員から 理研感光紙の重役へ

22年、大学を中退して、北京の大東銀行へ赴任。翌年、上海に異動して、約5年を過ごし、その間に結婚もした。

27年、金融恐慌の影響を受け、大東銀行は閉鎖。市村は横領の嫌疑で5カ月の監房生活を送る。

嫌疑が晴れて帰国し、熊本で富国生命の保険外交の職に就くが、なかなか契約が取れない。夜逃げを考えたとき、せめて一口取ってからと妻に励まされ、ようやく最初の契約が取れたのは熊本に来てから69日目であった。それからはとんとん拍子で、全国一の契約高を達成した。

29年、富国生命を退社。理研感光紙九州総代理店の吉村商会の権利を譲り受け、福岡に初めて自分の店を持った。

店主兼外交兼配達人兼荷造りで、がむしゃらに働き、半年目からは大幅に業績を伸ばす。間もなく新店舗を構え、朝鮮、満州の総代理店の権利も獲得した。

33年、理化学研究所の大河内正敏博士の招きで、本社の感光紙部長に就任。ところが、学歴もなく、一代理店の店主に過ぎない市村への破格の厚遇が、一流大学出の部長たちの恨みを買うこととなる。思えばくねた市村は「何もしない」と決めて、遅い出社、昼はサロン通い、早い帰宅の生活を3カ月ほど続けた。



1910
小学校4、5年生頃



1920
中央大学の学生



1925.1.26 結婚



1935 市村が初めて持った店・福岡の吉村商会と社員たち



1952.10.27 三菱石油羽田営業所開設式

で、36年、「理研感光紙」(のちのリコー)が創設され、市村は専務取締役就任。36歳であった。以降、市村は理研関係の重役を10社以上も兼任することになる。

「三愛」の精神に徹して

45年、敗戦。市村は、終戦前夜の重役会で、戦後の方針を、サービスマスの開拓と決定。「三愛商事」を設立した。

サービスマスの最も大きな課題は、どこでやるかである。市村は東京の地図を広げて毎日眺めていたが、ある日、隅田川と鉄道と東京湾の線が三つどもえになって結ばれている点がある。銀座4丁目であることに気付いた。戦前から銀座が東京の中心であったことには人知を超えた必然性があった。銀座4丁目は再び中心地になるに違いない、と確信したのである。

46年8月、「三愛」をオープン。食料品を適正価格で売る店として名を高めた。

同年4月、市村は44年に発足した、関連会社7社からなる「自蹊会」を「三愛会」と改め、12月にはグループ機関誌『三愛』を創刊、誌上で「三愛精神」を発表した。以降、関連会社はどんどん数を増していき、リコー三愛グループとして成長していくことになる。

三愛会の礎となった会社の詳細は『三愛会誌』市村清物語(150〜156号)に譲るとして、ここでは各社の創立や再建について簡単に記すのみとする。

47年、明治神宮の再建に力を貸してほしいという要請を受け、元の憲法記念館を「明治記念館」として経営、大成功を収めた。

52年、航空会社からの要請を受けて、航

空燃料を供給する「三愛石油」を創立。航空機への給油にハイドラントシステムを考案し、出願するが、内外の石油資本の競争となる。市村は「日本の空の玄関は、日本人の手でやるべきであり、考えてプランを立てたのは自分である」とGHQに直訴、その場で羽田の給油権を得た。

55年以降、カメラの輸出拡張と市場調査のため、頻繁に欧米を訪問。事務機の時代の到来を察知して、リコーपीヤリコーフレックスなどの製品開発に力を注いだ。

57年、米国マイアミにオーキッド300本を寄贈。日本庭園(イチムラ・パーク)も築き、日米親善に一役買った。

58年、西銀座の数寄屋橋の堀が埋め立てられ、高速道路が開通。道路下に誕生した日本初のショッピングセンター「西銀座デパート」の初代取締役社長に就任、センター内に「三愛」が出店した。

不死鳥の羽ばたきのごとく

62年から63年にかけて、市村は事業家としての全エネルギーを注ぎ、不死鳥の羽ばたきのような活躍ぶりを示した。

福岡の事業家の要請を受けコカ・コーラ事業に進出。コカ・コーラの北九州地区ボトラーとして「日米コカ・コーラボトリング」がスタート。

時の通産大臣らの要請で、名古屋の高野精密工業の再建に乗り出す。「一人もクビにしない」と約束して従業員に信頼を獲得、「リコー時計」と社名を変更し、わずか半年後には33石ダイナミック・オートや19石ハミングカレンダーなどのヒット商品を生み出した。

札幌市中島公園の一角に、超豪華ホテル「ホテル三愛」をオープン。しかし、リコーの再建などのために、わずか2年で手放すことになり、市村は従業員たちの前で男泣きに泣いた。

日本初のリース会社「日本リース・インターナショナル」が誕生。使用すれど所有せず、機械は天下の回りもの、などのキャッチフレーズも話題になった。

銀座4丁目角に円筒ガラス張りの「三愛ドリームセンター」が誕生。深夜0時の開店披露宴が東京中の評判となった。

終曲

市村にとって故郷佐賀は、たくさんの方の悔し涙を流した地であり、生きる力と勇気を与えてくれた地でもあり、終生忘れることはなかった。佐賀県立体育館(現市村記念体育館)や母校北茂安小学校講堂の寄贈などは、故郷に恩返しをしたという願いの表れの一つであった。

68年秋、体の不調を覚え、精密検査を受けたときには、すでに病状は絶望的なもので、余命3カ月と診断された。

「裸で生まれてきたから、裸で帰る」「遺産を世の中の役に立つ仕事の基金とした」という市村の思いを具体化すべく、三愛会の役員たちが奔走。「新技術開発財団」設立の認可が下りたのは亡くなるわずか4日前のことだった。

12月16日、永眠。全力で走りきった68年の人生だった。

創業者・市村清についてもっと知りたい方は、三愛新書『茨と虹と市村清の生涯』をご覧ください。



1969.12.16
『茨と虹と』初版本
実業之日本社刊



1965.8 電子リコピー BS-1 発表会
(大阪)



1963.5.4 コカ・コーラ
第1号が空輸便で届く



1960頃、三愛ドリーム
センターの模型を前に
構想を練る



1958.4.29
母校北茂安小学校に講堂を寄贈

三つの愛のハーモニー

第2次世界大戦が日本の敗戦によって終わりを告げ、10年にわたる戦雲が頭上からうち払われたとき、私どもの前に残されたのは、いずれも荒涼たる焦土と化した祖国であった。戦争にはやむを得ざる必然性があったにしても、国を挙げてその遂行に狂奔したとどのつまりに残された現実、あまりにみじめな、民衆の受けた惨害の痕跡であった。

私がその焦土の中でいち早くサービ部門に事業の活路を探ろうと裁断したのは、肩にかかった数百の復員社員たちの働き場を求めためもあつたけれども、大きく見れば、これからの世界には「平和」につながる企業でなくては存在の意義を持たぬと考えたからであった。

いったい人類はなぜこんなに深刻な闘争を繰り返すのであろうか。

人と人との争い、集団と集団との争い。

他の国を滅ぼして、自分の国の繁栄を図り、他の民族を奴隷化しておのが民族の優位を狙う、こうした勝つか負けるか、食うか食われるかという道だけが、人類の生きる術なのであろうか。

あれこれと考えて、私はようやく「愛」こそがこれから私がやる仕事の根幹でなければならぬと結論したのである。

まず、「人を愛する」ことである。自分さえよければという考えは徹底的に放逐しよう。人を愛することは、生活が豊かでなければできない。それにはやはり「勤めを愛する」ことだ。楽しく働ける環境がなくて豊かな生活が築けるはずがない。仕事は嫌だけれど、給料をもらうから勤める、妻子を養わなくてはならないから仕方がなく勤める―少なくとも私の事業ではこの観念を打破してやろう。

こう考えて、「勤めを愛する」という一項を挙げた。

仕事には創意工夫を凝らしてやれ、と言っている。創意を働かせれば仕事はだんだんに面白くなる。楽しいものなら自然に身も心も打ち込む。こんな幸せはない。仕事に打ち込んでいる人間の姿は非常に神聖である。そういう人は同僚や下僚からは尊敬されるし、上からは信頼され、自分自らは精神的にも向上するし、仕事そのものの技術も熟達する。

どんどん抜てきされて職場の地位が上がれば生活も余裕ができるから、他人のことを考え人を愛することもできるようになる。

個人としてそこまでいけば、やがて社会に對する愛となり、「国を愛する」精神につながることは間違いない。



これを要約すれば、勤めを愛する気持ちを持ったとき、人を愛し、国を愛する心が生まれ、それが戦争というような人間悪の極致現象をなくすもとなるのではないか。

これが、私の「三愛主義」であり、サービ部門の仕事を始めたとき、その店に「三愛」と名付けたゆえんなのである。

どうすれば世の人がお互いに幸福になれるか、どの道をとればお互いに豊かな生活ができるか。事業の内部外部を問わず、私は事業経営によってこの大命題を追求したい。単なる利潤追求ではなくて、その底に何かヒューマニズムの流れる事業家たることを信条としていたのである。またその信条こそが、真に事業を繁栄させる根本だと断言してはばからないのである。

『そのものを狙うな』より抜粋)

西郷南洲は『天を敬ひ人を愛す』と言った。『敬天愛人』の書は傳つて今日も有名である。私は敢て『三愛』と言ふ。大西郷の向ふを張るなどの不遜さは微塵も持たないが、人を愛し、國を愛し、任務を愛するの三愛精神は私の畢生の信念である。

「人間は萬物の靈長」と言はれるが、その人間個々の價値は色々な尺度で量られる。英雄豪傑を偉いと思ふ者もあり、大學者、大政治家、大藝術家、又は巨富を積んだ財界人を偉いとする考へ方もあらう。その何れもが偉大でないとは言はぬが、眞に人間の偉さを決定するものは、その人の持つ『愛』の深さと廣さとはなからうか。

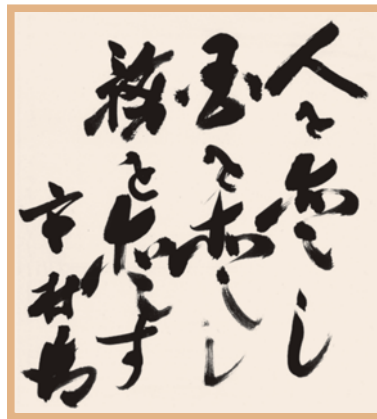
總ての動物に自己保存の本能がある如く、人間も本能的に自己を愛する。最も下劣な人間でも己れを愛することは人後に落ちぬ。や、平凡な人間になると、妻子を愛し、兩親を愛し、兄弟を愛する。次ぎには隣人愛に目覺め、進んでは民族を同じくする國民同胞を愛し、更らに大觀して世界全人類を愛する。なほも大悟徹底すれば、總ての動植物、森羅萬象盡くを自己と同じに愛し、遂ひには自己以上に愛する。天下萬民のためとあらば自己を滅却することを敢て辭せぬ所謂、大乘の愛にまで徹する。この境地は既に神であり佛であらう。キリストがそれであり、釋尊がそれである。愛の深さと廣さとが、如何なる段階にまで把握されてゐるか、それが人間の眞價を決定するものであると確信する

大學者、大政治家、大實業家などとして今日なほ追慕される人々は、それ自身の業蹟のほかに、否、業蹟そのものの中に、深く大乘の愛が徹してゐたからであると思ふ。吾々凡人は、神の境地にまで大いなる愛に徹するのは困難かも知れぬが、一歩たりとも、これに近づく努力を重ねたい。國を擧げて灰燼と化した敗戦の現實から、祖國再建に立ち上る吾々は先づ愛に徹するのでなければ、國土再建の難業は成就し得ぬ。罵り合ひ、排斥し合ふ代りに、大乘の愛に徹して、平和日本の基を築かねばならぬ。

さて『愛』の精神は既に多くの先哲も説いてゐる。而し私は敢て『三愛』の旗を掲げる。『三』とは何にか。古典には『一は二を生じ、二は三を生じ、三は萬物を生じ』『數は一に始り十に終り三に成る』とある。一寸、字引を擴げても、三晋、三從、三拜、三世相などあり、夏には三伏あり、法師に三藏あり、彌陀に三尊あ

三愛精神

市村清



昭和三十五年五月二十三日
社長室において 市村清揮毫

三愛精神は、1946(昭和21)年12月に発行されたリコー三愛グループの機関誌『三愛』創刊号に発表されました。

本文では「人を愛し國を愛し任務を愛する」と記されていますが、その後「任務」が「勤め」に改められ、「人を愛し國を愛し勤めを愛す」として現在に至っています。

三愛精神の原文を、あえて旧かな旧字のまま注を付さずに掲載しました。市村清の格調高い文章に触れ、ぜひ辞書を片手に読んでいただきたいと思ひます。

り、音曲に三絃三曲があれば、軸に三幅對あり、子は三界の首つかせ。三軍を叱咤した將軍も死しては三途の川を渡る。三國一の花婿も、數學の三角では三思三考する。漢字制限か或ひは全廢かの時世であるから、つまらぬ詮索は止めるとするが、字引や熟語集を擴げても、『三愛』の典故は見當らぬ。三愛は私の發見であり、同時に絶對的の信念である。

私の奉ずる三愛主義とは『人を愛し國を愛し任務を愛する』の精神である。世界人類の一員として先づ總ての人を愛する。日本人としては祖國日本を愛する。而して自己が此世に生を亨けた意義を果すため、己が任務を愛し、一意、職責に邁進する。忌憚なく言はしむるならば、資本主義は既に古く、社會主義、共產主義また桶の半面を語るに過ぎぬ。三愛主義こそ唯一救國の大道。八千萬國民が三愛の精神に燃え立つならば、日本再建は必ず可能なりと信ずる。

天地人の三才の説などを、この科學時代に擔ぎ出さうとは思はぬが『三は萬物を生ず』三愛の精神は、廣く如何なる場合にも、これに則つて過ちなきを信ずる。事業について云ふならば、従業員を愛し、資本を愛し、事業そのものを愛する。若し利潤あらば、従業員と資本と事業自體の運営改善とに、これを三分して歸屬せしめる。教育に於ては師を愛し子弟を愛し學問そのものを愛する。生活を樂しむがためには衣食住を心から愛す。自己を修めるためには過去を省み、現在を努力し未來に希望を抱いてその各々を愛す。政治にあつては、古典に『政は三を務めよ。一には人を擇び二には民に因り三には時に従ふ』とあるが、民主政治の今日、これは既に古い。宜しく行政、司法、立法の三權が、夫々、他を愛することに、各々が正義を保ち、眞に大衆のための政治を確立すべきである。

私はかねてから、この三愛の精神を奉じ、三愛主義をひそかに座右の銘として、その實行を畢生の念願として來た。今事業の上になしき一分野を進めんとするに當り、この三愛を商號とするこ

(原文のまま)

市村 語録

人勤 愛

市村清実践哲学から
市村的生き方に迫る

常に真実を見よ

真実が分かれば、誤解がなく、そこに相互の信頼と心からの団結が生まれる

ある雑誌記者が尋ねた。

「三愛」とはいい名前ですね。どういう意味ですか」

「十人十色。あなたはどっと思えますか」

「慈愛。友愛。いま一つは……恋愛ですか」

中国のある要人が言った。

「三愛というからには、日本を愛し中国を愛し、米国の愛する意味でしょう。中日両国が本心に愛し合い、さらに米国の愛することによって、初めてアジアの復興は達成します。その大理想を、お店の名前にするとはさすが……」

「市村君はなかなか話せる。酒とたばこと美人を愛する」という旗印を真つ向から掲げているんだから……」

「三愛」の意味も、見る人の心次第で、なるほどそんな解釈も成り立つか、感心したり、寒心したり、吹き出ししたりする。

要するに「真相」というものは、案外分らないものである。あるいは、いろいろの「分り方」があるものである。自分ののぞいた一断面だけが真相であると即断しがちなのである。

常に注意し戒心して、物事の真相、人物の真価、真実を間違えなく見定めるようにしたい。「真実」が分かれば誤解がなく、誤解のないところに相互の信頼と心からの団結とが生まれる。

『三愛』3号

人の逆をいく法

人の欲しがるものは、一切欲しがるな

私は実業家だから、できるだけ金をもうけなければならぬわけだけれども、金ぐらい便利なものはないから、誰でももうけようと思っていない。そうすると、資本があるとか、家柄が良いとか、健康であるとか、学歴が十分とか、コネクションが良いとか、こういう条件の良い人にはどうしても勝てんということ、私は独立して商売をしながら、つくづく感じた。

それでは、逆をいったらどうだろう。金も、地位も、名誉も要らん。酒、たばこをやめて、ただやらなきゃならんと思ったことを誠心誠意やってみようと自分に言い聞かせて、3年間、文字通り黙々とやってやった。そうしたら、私に対する評価がす

お客もセールスマン

どんな小さい顧客にも誠心誠意尽くすこと

私が理研の感光紙の九州代理店を始めたときの話。

夏の暑い盛りのある日、4キロ以上も離れている所のお客さんから、感光紙を1本いますぐ持つてこいという注文の電話が掛かってきた。私は、気の進まなそうな店員に、すぐ行くように言った。

間もなく、またそのお客から電話があつて、現像に使うアンモニアを頼むのを忘れたので、それも1本持つて来てくれと言つた。仕方なく、私は自分で行くことにした。自転車を飛ばしていくと、途中で帰りがけの店員に会った。

「ご主人、どこに行くんですか」

「いま君の行ってきた家に行くんだ。アンモニアを忘れ

っかり変わっている。いわゆるファンに似た人が知らぬ間にできていた。

ついでに、もう2年と思つて続けた。そうしたら、本家本元の理化学研究所から、私を重役に迎えようという空気が起こってきた。そこで初めて大欲は無欲に似たり、全く求めなかったことが誰よりも一番大きく得られたという結果になった。

みんな「自分は努力している。しかし……」と言つけれども、それは体温でいえばせいぜい38度ぐらいの努力ではないか。私は40度ぐらいの高熱に耐えていたのではないかと思う。だから、大変なやつだといふ各方面からの信頼を勝ち得たのではないかと思う。

『明日への着眼』

たというから持つて行くところだ」

「チエツ、あのおっさん、ずいぶん自分勝手だなあ」

私はホコリと汗でぐっしりになった顔を小川できれいに洗つてから、入り口の戸を開けた。主人は私の誠意はもとより、汗まで拭いて、向こうの気持ちに負担をかけさせないようにした私の心配りにも気付いて、よほど感激したのだらう、それからというものは、徹底して私の宣伝係となった。どこへ行つても「市村という男はえらい誠実な男だ。感光紙ならあそこのを買え」と、頼みもしないのに褒めちぎる。

どれほどこの小さなお客さんが私の店の信用を高めてくれたか計り知れなかった。『そのものを狙つた』



1918年頃 両親、弟たちと（佐賀県北茂安の生家にて）

アイデアマンというが アイデアはすべて体験に根差している

私がこれまで生みかかつ育ててきた数々の事業は、新しい着想、今日から明日に伸びる資質に富んでいるとの確信に基づいて着手したものでありだ。

そのアイデアは、すべて私の体験に根差したアイデアである。根拠無しの雲をつかむような工夫だけでは、やはり事業として結実させられるものではない。

アイデアとは、地に足着いた発想とは、すべてこれ体験と実験、不断の努力から生じるものである。

『明日への着眼』

アイデアだけでは 仕事はできぬ

アイデアを生むには10の力がある

企画にまで高めるには30の力がある

実現するためには100の力がある

ある意味で、新しいアイデアを考え出すことはできる。しかし、今度はそれを具体的に企画としてやるとなると、それ一つじゃいけない。他の条件がたくさん整わなければ成立しない場合が多い。

アイデアを考え出す力は10でもいい。ところが具体案を作るのには30くらいの力が必要。さらに実行するとなると、100の力が必要。

アイデアさえあればすぐに事業が成功するような安易な考えでうかうかとスタートされると、思いもかけぬ痛手を被る場合が非常に多い。

『明日への着眼』

人を支える厚意

命懸けで力になってくれるのは、やはり女房である

私が不遇になったとき、人の対し方には三種類あった。私に背いた人、反対にこのときとばかり積極的に厚意を見せてくださった人、どっちつかず、当たらず触らずでいた人。

私に厚意を示してくださった方々に勇気づけられて、再起せねばならぬと覚悟を新たにされた。本当の人間の善意というのは、人を動かすのだ。

当時、一番苦しかったのは、私が失敗すれば、私に背いた人が快哉を叫び、私に最後まで厚意を持ってくださった方に背くことになるということだった。幸いにしてそうした人にお報いすることができた。そういう意味では、これが一番うれしい。

それと、最後になってくると、やっぱり女房が一番命懸けで力になってくれる。女房が一番よく知っていてくれる。世の男性諸君には、ぜひ奥さんのことを大事にされることをお願いしたい。

『日本経営出版会記者との対話』

エンジンに負けない

エンジンは発明家として、企業家として一人での特長を兼備した類いまれな人であった。われわれはそんな特長の一つを持つ者を十人結集すれば、エンジンに負けないのだ。

『市村清実践哲学』

事業さえ残ればよい

私は事業が生命いのち。主治医は漸次事業から手を抜けと言ったが、仕事に打ち込むことが私の生きがい。仕事をすれば命が縮まると言うが、私は事業さえ残ればよいと思っている。

『市村清実践哲学』

30代の諸君に

転んだら、起きればよいではないか

30代は男女を問わず、肉体的にも、精神力も、知能力においても最も充実している時代である。おそらく30代の処し方で人生の勝負浮沈が決まると言っても過言ではあるまい。また、万が一失敗したとしても、再起できるという強みを持っている。失敗を基にして、成功への道を切り開くことができるのである。

30代の諸君よ。安易な妥協はしないでいたいただきたい。あなたの信するところに邁進していただきたい。転んだら起きればよいではないか。

要領よく世渡りしようなどという見方は捨てていただきたい。

命懸けの真剣さをもってすれば、あなたは必ず人生の勝利者となるであろう。

『San-a-i』24号

『San-a-i』21号

精神力だけで生きてきた

子供は苦勞さすべきではない

「近頃は楽しい夢を見ることがない。いつも見るのは子供の頃の苦しかった生活の夢ばかり。そんな夢を見るとひどく身体にこたえる。子供はやはり苦勞さすべきではない。子供を苦勞させるのは親の残虐行為である。私が終生太らなかつたのはその苦勞のためであった。私はただ精神力だけで生きてきた」と病床で嗚咽なげなげされつつ語られた。

『館林三喜男 第二代三愛会会長』

『市村清実践哲学』

誌面の都合上、『市村清実践哲学』から一部抜粋して再構成しました。

『市村清実践哲学』（新装版）は12月発行の予定です。ぜひ全文をこゝ読んでください。（詳細については25ページ 三愛会マガジンをご覧ください。）

母

必ずお母さんを幸福にしてあげる

私の幼少年時代の母のイメージといえば、父にいじめられている、みじめな姿ばかり。父は焦っていたのか、終生こりもせず、いろんな商売に次から次へと手を出しては失敗ばかりを繰り返した。生活は年中苦しく、父はそのウツプンを母にあたることで晴らしていたようだ。




「僕はいまに、きつと強くなつて、必ずお母さんを幸福にしてあげるぞ」



私がどうやら今日あるを得たのは、不幸な母を一日も早く幸福にしてあげたい、という母を思つ一念が原動力であつたと信じている。

母は幸いにも私が一人前になつたのを見届けて、満足のうちに他界した。

三愛会 70年の歴史

1900														年代 会長																			
市村清														西暦 (元号)																			
62 (昭37)	61 (昭36)	60 (昭35)	58 (昭33)	57 (昭32)	55 (昭30)	54 (昭29)	53 (昭28)	52 (昭27)	50 (昭25)	49 (昭24)	48 (昭23)	47 (昭22)	46 (昭21)	45 (昭20)	44 (昭19)	36 (昭11)	三愛会の動き																
<p>市村、私費を投じて物故社員の家族に育英金支給 市村、藍綬褒章受章</p> <p>三愛会総合大運動会を開催(理研光学工業 砧総合グラウンド) 市村、全国僻地小学校にリコーシンクロフアクスを寄贈</p>														<p>三愛会、事務所移転(中央区銀座)</p> <p>『三愛』休刊(54年復刊)</p>	<p>三愛会、事務所移転(中央区木挽町)</p>	<p>4月4日、自蹊会を『三愛会』に改称(三愛会設立)。初代会長・市村清 12月、市村、グループ機関誌『三愛』創刊、『三愛精神』を発表</p> <p>4社(理研光学工業、東洋特専、旭無線、三愛)合同大運動会(豊島園) 市村、明治神宮からの再建要請で明治記念館を開館</p>	<p>関連会社7社からなる自蹊会発足。グループ機関誌『自蹊会報』発行 物故社員合同慰霊法要を築地本願寺にて営む(参列者850名)</p>	<p>理化学興業(株)から独立し、理研感光紙(株)として設立。(38年、理研光 学工業(株)に社名変更)</p>	<p>三愛商事(株)設立</p>	<p>三愛商事(株)設立</p>	<p>三愛商事を(株)三愛に改組、設立</p>	<p>理研光学工業、「リコーフレックス」を発売</p>	<p>三愛石油(株)設立。石油製品の販売を開始。東京国際空港内に羽田営業 所を開設し、航空機への給油事業に着手</p>	<p>三愛精工(株)設立(63年、リコー計器(株)に社名変更)</p>	<p>理研光学工業、ジャソ複写機の1号機「リコーピー101」を発売。事 務機器分野へ進出</p>	<p>三愛石油、ハイドラント式給油施設による航空機給油業務を開始</p>	<p>理研光学工業、カメラの量産体制をわが国で初めて確立。大河内記念 生産賞受賞</p>	<p>理研光学工業健康保険組合設立(63年、リコー健康保険組合に改称) (株)西銀座テパート設立</p>	<p>飲料の製造・販売会社、日米飲料(株)を設立(63年、日米コカ・コーラ ボトリング(株)に社名変更)</p>	<p>日米コカ・コーラボトリング、ザ・コカ・コーラカンパニーおよび日本 コカ・コーラ(株)と契約を締結。販売開始</p>	<p>二・二六事件 阿部定事件 サイパン島陥落 対馬丸事件 広島・長崎に原爆投下 8月15日、終戦 天皇が神格否定の詔書(人間宣言) 「リンゴの歌」が大流行 日本国憲法施行 6・3・3学制発足 帝銀事件 美空ひばりデビュー 三重大事件(下山・三鷹・松川)発生 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞 朝鮮戦争勃発。特需ブーム到来 金閣寺が放火で炎上 国会中継の放送スタート 日米安全保障条約発効 テレビ本放送開始 赤色公衆電話が登場 力道山などプロレスブーム マリリン・モンロー来日 1円硬貨、50円硬貨が新登場 森永粉ミルク中毒事件 100円硬貨、5千円紙幣が新登場 日本コカ・コーラ設立 皇太子妃決定(ミッチーブーム) 東京タワー完成 閣議で所得倍増計画を決定 カラーテレビの本放送開始 ソ連の人工衛星、初の地球一周有人 飛行に成功 堀江謙一、ヨットで太平洋単独横断 に成功</p>	<p>グループ各社の出来事</p>	<p>社会の出来事</p>
<p>市村、米国マイアミ市に桜の苗木寄贈の申し出 (61年、イチムラ・ガーデンを寄贈)</p> <p>市村、マイアミ市に桜に代え蘭3000本を贈呈 市村、母校・佐賀県北茂安小学校に講堂を寄贈</p>														<p>『三愛』を『San'ai』に改称</p> <p>三愛会合同運動会を開催(大田区馬込第三小学校)</p>	<p>合同運動会を開催(1954.10.17)</p>	<p>4月4日、自蹊会を『三愛会』に改称(三愛会設立)。初代会長・市村清 12月、市村、グループ機関誌『三愛』創刊、『三愛精神』を発表</p> <p>4社(理研光学工業、東洋特専、旭無線、三愛)合同大運動会(豊島園) 市村、明治神宮からの再建要請で明治記念館を開館</p>	<p>関連会社7社からなる自蹊会発足。グループ機関誌『自蹊会報』発行 物故社員合同慰霊法要を築地本願寺にて営む(参列者850名)</p>	<p>理化学興業(株)から独立し、理研感光紙(株)として設立。(38年、理研光 学工業(株)に社名変更)</p>	<p>三愛商事(株)設立</p>	<p>三愛商事(株)設立</p>	<p>三愛商事を(株)三愛に改組、設立</p>	<p>理研光学工業、「リコーフレックス」を発売</p>	<p>三愛石油(株)設立。石油製品の販売を開始。東京国際空港内に羽田営業 所を開設し、航空機への給油事業に着手</p>	<p>三愛精工(株)設立(63年、リコー計器(株)に社名変更)</p>	<p>理研光学工業、ジャソ複写機の1号機「リコーピー101」を発売。事 務機器分野へ進出</p>	<p>三愛石油、ハイドラント式給油施設による航空機給油業務を開始</p>	<p>理研光学工業、カメラの量産体制をわが国で初めて確立。大河内記念 生産賞受賞</p>	<p>理研光学工業健康保険組合設立(63年、リコー健康保険組合に改称) (株)西銀座テパート設立</p>	<p>飲料の製造・販売会社、日米飲料(株)を設立(63年、日米コカ・コーラ ボトリング(株)に社名変更)</p>	<p>日米コカ・コーラボトリング、ザ・コカ・コーラカンパニーおよび日本 コカ・コーラ(株)と契約を締結。販売開始</p>	<p>二・二六事件 阿部定事件 サイパン島陥落 対馬丸事件 広島・長崎に原爆投下 8月15日、終戦 天皇が神格否定の詔書(人間宣言) 「リンゴの歌」が大流行 日本国憲法施行 6・3・3学制発足 帝銀事件 美空ひばりデビュー 三重大事件(下山・三鷹・松川)発生 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞 朝鮮戦争勃発。特需ブーム到来 金閣寺が放火で炎上 国会中継の放送スタート 日米安全保障条約発効 テレビ本放送開始 赤色公衆電話が登場 力道山などプロレスブーム マリリン・モンロー来日 1円硬貨、50円硬貨が新登場 森永粉ミルク中毒事件 100円硬貨、5千円紙幣が新登場 日本コカ・コーラ設立 皇太子妃決定(ミッチーブーム) 東京タワー完成 閣議で所得倍増計画を決定 カラーテレビの本放送開始 ソ連の人工衛星、初の地球一周有人 飛行に成功 堀江謙一、ヨットで太平洋単独横断 に成功</p>	<p>グループ各社の出来事</p>	<p>社会の出来事</p>
<p>市村、米国マイアミ市に桜の苗木寄贈の申し出 (61年、イチムラ・ガーデンを寄贈)</p> <p>市村、マイアミ市に桜に代え蘭3000本を贈呈 市村、母校・佐賀県北茂安小学校に講堂を寄贈</p>														<p>『三愛』を『San'ai』に改称</p> <p>三愛会合同運動会を開催(大田区馬込第三小学校)</p>	<p>合同運動会を開催(1954.10.17)</p>	<p>4月4日、自蹊会を『三愛会』に改称(三愛会設立)。初代会長・市村清 12月、市村、グループ機関誌『三愛』創刊、『三愛精神』を発表</p> <p>4社(理研光学工業、東洋特専、旭無線、三愛)合同大運動会(豊島園) 市村、明治神宮からの再建要請で明治記念館を開館</p>	<p>関連会社7社からなる自蹊会発足。グループ機関誌『自蹊会報』発行 物故社員合同慰霊法要を築地本願寺にて営む(参列者850名)</p>	<p>理化学興業(株)から独立し、理研感光紙(株)として設立。(38年、理研光 学工業(株)に社名変更)</p>	<p>三愛商事(株)設立</p>	<p>三愛商事(株)設立</p>	<p>三愛商事を(株)三愛に改組、設立</p>	<p>理研光学工業、「リコーフレックス」を発売</p>	<p>三愛石油(株)設立。石油製品の販売を開始。東京国際空港内に羽田営業 所を開設し、航空機への給油事業に着手</p>	<p>三愛精工(株)設立(63年、リコー計器(株)に社名変更)</p>	<p>理研光学工業、ジャソ複写機の1号機「リコーピー101」を発売。事 務機器分野へ進出</p>	<p>三愛石油、ハイドラント式給油施設による航空機給油業務を開始</p>	<p>理研光学工業、カメラの量産体制をわが国で初めて確立。大河内記念 生産賞受賞</p>	<p>理研光学工業健康保険組合設立(63年、リコー健康保険組合に改称) (株)西銀座テパート設立</p>	<p>飲料の製造・販売会社、日米飲料(株)を設立(63年、日米コカ・コーラ ボトリング(株)に社名変更)</p>	<p>日米コカ・コーラボトリング、ザ・コカ・コーラカンパニーおよび日本 コカ・コーラ(株)と契約を締結。販売開始</p>	<p>二・二六事件 阿部定事件 サイパン島陥落 対馬丸事件 広島・長崎に原爆投下 8月15日、終戦 天皇が神格否定の詔書(人間宣言) 「リンゴの歌」が大流行 日本国憲法施行 6・3・3学制発足 帝銀事件 美空ひばりデビュー 三重大事件(下山・三鷹・松川)発生 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞 朝鮮戦争勃発。特需ブーム到来 金閣寺が放火で炎上 国会中継の放送スタート 日米安全保障条約発効 テレビ本放送開始 赤色公衆電話が登場 力道山などプロレスブーム マリリン・モンロー来日 1円硬貨、50円硬貨が新登場 森永粉ミルク中毒事件 100円硬貨、5千円紙幣が新登場 日本コカ・コーラ設立 皇太子妃決定(ミッチーブーム) 東京タワー完成 閣議で所得倍増計画を決定 カラーテレビの本放送開始 ソ連の人工衛星、初の地球一周有人 飛行に成功 堀江謙一、ヨットで太平洋単独横断 に成功</p>	<p>グループ各社の出来事</p>	<p>社会の出来事</p>

三善信一		館林三喜男											
77 (昭52)	76 (昭51)	75 (昭50)	74 (昭49)	73 (昭48)	70 (昭45)	69 (昭44)	68 (昭43)	67 (昭42)	66 (昭41)	65 (昭40)	64 (昭39)	63 (昭38)	
九州地区カルチャーセンター開催	10月20日、館林三喜男会長逝去。同日、三善信一が三愛会会長就任 10月29日、館林会長のリコー三愛グループ合同追悼式を挙げる	『San'ai』80号を「30周年記念号」として発行 10月20日、館林三喜男会長逝去。同日、三善信一が三愛会会長就任 10月29日、館林会長のリコー三愛グループ合同追悼式を挙げる	第1回カルチャーセンター開催（三愛会とリコー厚生年金基金共催） 社友会発足（90年、自主運営組織化） たんぼば会発足（物故社員の未亡人による会） 愛の手委員会設置。10月、愛の手募金活動開始。12月、贈呈開始 三愛新書『人間と文化』シリーズ第1集創刊		市村清三回忌法要を挙げる（ホテルオークラ）	市村清銅像除幕式を挙げる（リコー大森事業所玄関前広場） 三愛新書『茨と虹とー市村清の生涯』刊行	12月20日、築地本願寺で葬儀・告別式を挙げる 12月16日、市村清逝去。同日、館林三喜男が三愛会会長就任	三愛会 事務所移転（リコー三愛ビル内） 三愛会合同大運動会を開催（東京体育館）	物故者合同慰霊法要を営む（44年以來の再開） リコー三愛ビル開館（中央区銀座）		第1回合同入社式開催（リコー本社内） 『San'ai』休刊（68年、復刊） 市村、紺綬褒章受章（2度目）	市村遺児育英会規定制定	第1回幹部新年会開催（理研光学工業内） 市村、佐賀県に佐賀県体育館を寄贈 市村、紺綬褒章受章 市村、銀座4丁目角に交番を寄贈
													
					万博出展契約（1968.7.9）			合同入社式開催（1965.4.7）				佐賀県体育館を寄贈（1963.3.11）	
リコー、業界で初めてOA（オフィス・オートメーション）を提唱	リコー、業界で初めてOA（オフィス・オートメーション）を提唱	リコーレジット(株)設立	リコー、世界初の事務用高速ファクシミリ「リファクス600S」を発売 リコー、事務機業界初のデミング賞を受賞 リコー健康保険組合、リコー三愛グループ健康保険組合に改称	リコー三愛グループ、日本万国博覧会（大阪）にリコー館を出展 日米コカ・コーラボトリング、北九州コカ・コーラボトリング(株)に社名変更 リコー光学(株)設立	リコー三愛グループ、日本万国博覧会（大阪）にリコー館を出展 日米コカ・コーラボトリング、北九州コカ・コーラボトリング(株)に社名変更 リコー光学(株)設立	リコー三愛グループ、日本万国博覧会（大阪）にリコー館を出展 日米コカ・コーラボトリング、北九州コカ・コーラボトリング(株)に社名変更 リコー光学(株)設立	新技術開発財団・第1回市村賞贈呈式（ホテルオークラ） 三愛石油、東京都日野市に研究所を設置、泡消火剤、防かび剤、防錆剤の開発・製造・販売に着手	三愛不動産(株)設立（現リコークリエイティブサービス(株)） 新技術開発財団設立を内閣総理大臣認可（市村の個人財産約30億円を寄付）	九州三愛観光(株)設立（現三愛観光(株)） 日本リース・インターナショナル、(株)日本リースに社名変更 東北リコー(株)設立	三愛レストハウス完成披露・開業（熊本県阿蘇郡） ホテル三愛開業	三愛運輸(株)を設立（現リコーロジステイクス(株)）	市村、高野精密工業(株)の再建に着手、社名をリコー時計(株)に変更 (株)ホテル三愛設立（札幌市）（64年、三愛観光(株)に社名変更） 三愛ドリウムセンター完成 理研光学工業、(株)リコーに社名変更 (株)日本リース・インターナショナル設立	
青酸カリ入りリコーラ事件 大学入試センター発足	青酸カリ入りリコーラ事件 大学入試センター発足	ロッキード事件起こる（田中角栄が逮捕される） 日本初の五つ子誕生	沖繩国際海洋博覧会開催 ベトナム戦争終結 第1回先進国首脳会議（サミット）が仏・ランブイエ城で開催	江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞 田中角栄首相、金脈問題で退陣表明 巨人軍・長嶋茂雄引退 ベトナム戦争終結 第1回先進国首脳会議（サミット）が仏・ランブイエ城で開催	江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞 田中角栄首相、金脈問題で退陣表明 巨人軍・長嶋茂雄引退 ベトナム戦争終結 第1回先進国首脳会議（サミット）が仏・ランブイエ城で開催	江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞 田中角栄首相、金脈問題で退陣表明 巨人軍・長嶋茂雄引退 ベトナム戦争終結 第1回先進国首脳会議（サミット）が仏・ランブイエ城で開催	米国、アポロ11号が人類初の月面着陸に成功 大学紛争の天王山、東大安田講堂封鎖解除 東名高速道路全面開通 日本万国博覧会開催（大阪） 日航機よど号ハイジャック オイルショック起こる 金大中事件 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞	川端康成、ノーベル文学賞受賞 3億円事件起こる（75年時効） 郵便番号制スタート 米国、アポロ11号が人類初の月面着陸に成功 大学紛争の天王山、東大安田講堂封鎖解除 東名高速道路全面開通 日本万国博覧会開催（大阪） 日航機よど号ハイジャック オイルショック起こる 金大中事件 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞	2月11日、初の建国記念日 高見山大五郎、初の外国人関取（十両）に昇進 川端康成、ノーベル文学賞受賞 3億円事件起こる（75年時効） 郵便番号制スタート 米国、アポロ11号が人類初の月面着陸に成功 大学紛争の天王山、東大安田講堂封鎖解除 東名高速道路全面開通 日本万国博覧会開催（大阪） 日航機よど号ハイジャック オイルショック起こる 金大中事件 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞	富士山レーダー観測開始 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞 中国文化大革命始まる 日本の人口、1億人を突破 ビートルズ、日本武道館で公演 2月11日、初の建国記念日 高見山大五郎、初の外国人関取（十両）に昇進 川端康成、ノーベル文学賞受賞 3億円事件起こる（75年時効） 郵便番号制スタート 米国、アポロ11号が人類初の月面着陸に成功 大学紛争の天王山、東大安田講堂封鎖解除 東名高速道路全面開通 日本万国博覧会開催（大阪） 日航機よど号ハイジャック オイルショック起こる 金大中事件 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞	東海道新幹線開通 東京オリンピック大会開催	東京都、世界初の1千万人都市に 日米間テレビ宇宙中継受信実験成功（ケネディ大統領暗殺のニュース受信） 吉展ちゃん誘拐事件 東海道新幹線開通 東京オリンピック大会開催	

2000													1900		年代 会 長		
浜田 広													三善信一		西暦 (元号)		
04 (平16)	03 (平15)	02 (平14)	01 (平13)	00 (平12)	99 (平11)	96 (平8)	95 (平7)	93 (平5)	91 (平3)	90 (平2)	88 (昭63)	86 (昭61)	84 (昭59)	80 (昭55)	79 (昭54)	78 (昭53)	三愛会の動き
3月19日、三善信一前会長逝去 4月19日、三善前会長のお別れの会を挙行(帝国ホテル)			  <p>『三愛会会誌』 市村清生誕100年記念号 (2000.4.4、11.15)</p>	<p>市村清生誕100年記念式典を挙行(リコー大森会館) 『三愛会会誌』125号「市村清生誕100年記念号」発行 『三愛会会誌』126号「市村清生誕100年記念行事号」発行</p>	<p>浜田広が三愛会会長就任 市村遺児育英会を市村育英会に改称 常任理事会社の変更(日本リース退会)</p>	<p>リコー三愛グループ愛の手募金規定制定</p>	<p>第1回ボウリング大会を開催(2044名参加)</p>	<p>三愛会神奈川支部発足(91年、神奈川・東静岡支部に名称変更) 市村の母校・北茂安小学校に市村清展示コーナー誕生</p>	<p>ヤング三愛会がスタート</p>	<p>『San'ai』を『三愛会会誌』に改称。「創立40周年記念号」発行 社長会を常任理事会に改組 1月8日、市村幸恵夫人(三愛社長・三愛会顧問)逝去 2月12日、市村幸恵合同葬儀・告別式を挙行(三愛会・三愛共催)</p>	<p>市村清十三回忌・リコー三愛グループ合同慰霊祭を挙行(賢宗寺)</p>	<p>三愛会常務理事会を社長会に改組し、最高決議機関とする(リコー、三愛、三菱石油、日本リース、北九州コカ・コーラボトリング、リコー時計、三愛不動産社長で構成) 各地区に三愛会支部発足(8支部)</p>					
三愛石油、石油元売会社であるキグナス石油(株)の全株式を取得	三愛ドリムセンターが「日本におけるモダンムーブメントの建物100選」に選出	三愛石油、創立50周年 三愛石油、コーポレート・ブランド「Obber」を導入 市村自然塾 九州が起工	三愛石油、コーポレート・ブランド「Obber」を導入 市村自然塾 関東が起工 北九州コカ・コーラボトリング、三笠コカ・コーラボトリング(株)を子会社化	リコー、デジタル複合機 image i Neo 350シリーズが省エネ大賞・経済産業大臣賞を受賞 市村自然塾 関東が起工 北九州コカ・コーラボトリング、三笠コカ・コーラボトリング(株)を子会社化	北九州コカ・コーラボトリング、山陽コカ・コーラボトリング(株)と合併し、コカ・コーラウエストジャパン(株)に社名変更	三愛不動産とリコーゼネラルサービスが合併し、リコー三愛サービス(株)設立	三愛不動産、羽田空港における新航空機給油施設供用開始	三愛石油、世界最高速のデジタルフルカラー機「ARTAGE8000」を発売 新技術開発財団、熱海に植物園開設	リコー、創立50周年。コーポレートロゴを一新 リコー時計、リコーエレメックス(株)に社名変更 リコーエレメックス、創立50周年記念式典を開催	リコークレジット、リコーリース(株)に社名変更	東北リコー、東北の企業として初のデミング賞を受賞						グループ各社の出来事
インド洋大津波発生	アフネオリンピック開催	イラク戦争勃発、フセイン政権崩壊 「千と千尋の神隠し」、アカデミー賞	「ゆとり教育」スタート 北朝鮮から5人の拉致被害者帰国 W杯サッカー大会、日韓合同開催	米国、同時多発テロ勃発。NY世界貿易センタービル崩壊 小泉内閣が発足	九州・沖縄サミット開催 三宅島噴火、全島避難	小選挙区比例代表並立制による初の総選挙実施	阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件	湾岸戦争勃発 ソビエト連邦消滅	東西ドイツ統一 ローリング・ストーンズ初来日	男女雇用機会均等法施行 チェルノブイリ原子力発電所事故 青函トンネル開通 瀬戸大橋開通	山口百恵引退、松田聖子デビュー グリコ・森永事件 ロス疑惑騒動(三浦事件)	東京サミット開催 初の共通一次試験実施 自衛隊スバイ事件 山口百恵引退、松田聖子デビュー	日中平和友好条約調印 新東京国際空港(成田)開港 キャンデイス、さよなら公演				社会の出来事

近藤史朗				桜井正光											
16 (平 28)	15 (平 27)	14 (平 26)	13 (平 25)	12 (平 24)	11 (平 23)	10 (平 22)	09 (平 21)	08 (平 20)	07 (平 19)	06 (平 18)	05 (平 17)				
<p>三愛会事務所移転（中央区銀座） 三愛会 東京支部事務局移管（リコー ジャパン内）</p> <p>4月4日、三愛会・創立70周年記念日 市村清「三愛精神」発表から70年</p>				<p>近藤史朗が三愛会会長就任</p>  <p>三愛新書 『市村清講演集』 (2008.12)</p>  <p>市村清没後40年記念式典 (2008.12.16)</p>				<p>桜井正光が三愛会会長就任</p>  <p>『リコー三愛グループのご紹介』 創刊号 (2008.4.4)</p>				<p>常任理事会の変更（リコーリースがリコー三愛サービスと交代）</p>			
<p>リコー、創立80周年 リコーリース、創立40周年</p>				<p>リコー、1955年発売の「リコー100」が機械遺産に認定 ココ・コーラグループ「先人の碑」追悼会を開催 三愛石油、創立60周年 リコー、コーポレート・タグライン「i.m.a.g.i.n.e.c.h.a.n.g.e.r.」を制定 ココ・コーラウエスト、南九州ココ・コーラボトリング(株)を子会社化 リコーリース、ピンクリボン活動10周年を迎える ココ・コーラウエスト、南九州ココ・コーラボトリングを吸収合併</p>				<p>三愛石油、国際油化(株)の全株式を三井物産(株)より取得 リコー、カラーPOD市場に本格参入</p>				<p>首都圏の販売会社5社を統合し、リコー販売(株)を設立 三愛、株式交換により、リコーの完全子会社化 三愛石油、天然ガス供給事業開始 リコー、海老名にテクノロジセンター設立 リコー、コーポレートロゴを一新 三愛ドリームセンターに、リコーの広告塔が点灯 ココ・コーラウエストジャパン、ココ・コーラウエストホールディングス(株)に社名変更。会社分割してココ・コーラウエストジャパン(株)を新設。近畿ココ・コーラボトリング(株)を子会社化 リコーリース、創立30周年を迎え、記念ロゴを作成</p>			
<p>選挙権年齢を18歳に引き下げ</p>				<p>マイナンバー制度施行 消費税、17年ぶりに8%に増税</p>				<p>米大統領にバラク・オバマが就任（初のアフリカ系） 裁判員制度スタート 小惑星イトカワ探査機（はやぶさ）、7年ぶりに地球へ帰還 東日本大震災</p>				<p>愛知万博（愛と地球博）開催 JR福知山線脱線事故 京都議定書発効</p>			
<p>第1回ワールドベースボールクラシック（WBC）開催。日本代表が初代王者に ライプドブ事件 秋篠宮家に男児（悠仁さま）誕生 第1回東京マラソン開催 新潟県中越沖地震 北海道・洞爺湖サミット開催 リーマン・ブラザーズが経営破綻 世界同時株安に 浅田麻央、世界フィギュア初優勝</p>															

トピックス Select 15

トピックス 15 をご紹介します。

1
1946
(昭21)

三愛会の設立（歴代会長の肖像）

リコー三愛グループ各社が結束を強化し、互いに助け合うために

1944年、創業者・市村清はグループ各社相互の連携を図ることが大切だと考え、関連会社7社からなる「自蹊会」を発足。

終戦を契機に、46年4月、自蹊会を「三愛会」と改め、同年12月、創業時より温めてきた「三愛精神」を機関誌『三愛』に発表しました。

リコー三愛グループ各社とその社員たちが三愛会を介して強い絆で結ばれることが市村の最も望むところであり、合同入社式、合同運動会など、企業の垣根を超えた三愛会主催の行事が実施されました。

市村亡き後、会長は館林三喜男、三善信一、浜田広、桜井正光、そして現・近藤史朗へと受け継がれ、三愛会は70年の長きにわたってグループのまとめ役としての任を担ってきました。

歴代の三愛会会長 細字は兼職または前職



初代 市村 清
リコー三愛グループ
創業社長



2代 館林三喜男
(株)リコー社長
三愛石油(株)社長
日米コカ・コーラ(株)社長
三愛不動産(株)社長



3代 三善 信一
(株)リコー会長



4代 浜田 広
(株)リコー社長、会長



5代 桜井 正光
(株)リコー社長、会長



6代 近藤 史朗
(株)リコー社長、会長

2
1961
(昭36)

市村育英会の発足

社員の遺児たちに学費を

病気で亡くなった社員の葬儀に参列したときのこと、創業者・市村清は幼い男の子が霊前で小さな手を合わせている姿を見て、胸をうたれました。そうして、会社に戻るなり、部下を呼び、涙ぐみながら「これから生活に困るだろうから、僕が学費の面倒を見る」と言い出したのです。

このことをきっかけに、1961年、一家の柱を失った社員の家庭に救済の手を差し伸べるという目的で、市村の私費による「市村遺児育英会」（現 市村育英会）が設立されました。

3
1975
(昭50)

愛の手募金

遺児たちに愛の手を

愛の手募金は、1975年10月、「この子たちに愛の手を」（リコー三愛グループ社員の遺児45人に、みんなの善意を集めて年越しのプレゼントを贈ろう）という社員たちの呼び掛けから始まりました。

初年度の募金協力会社は40社団。手作りの募金箱を持って職場を回るなど、さまざまな活動の結果、目標の200万円をはるかに超える460万円余が集まりました。

贈呈式を兼ねて開かれたクリスマスパーティーでは、プレゼントを受け取る子供たちの歓声が響き渡ったのでした。

以来、愛の手募金はリコー三愛グループの良き伝統行事として定着。グループ各社の実行委員会を中心に活動の輪が大きく広がって、今でも子供たちに年末プレゼントや入進学祝い金を贈っています。

また、1995年、阪神大震災で被災された方々に総額約1,000万円、2011年、東日本大震災で被災された方々に総額約2,300万円のお見舞金を贈りました。



愛の手実行委員会主催のクリスマスパーティー（1976.12.25）



遺児から届いたお礼の手紙

三愛会 歴史

三愛会 70年の歴史の中から選んだ

4
1946
(昭21)

グループ機関誌を発行

グループ各社の情報交換、意見発表、親睦の場として

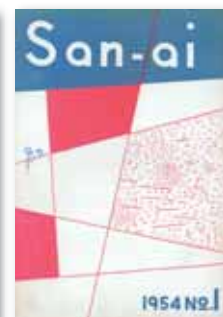
1946年12月、月刊誌『三愛』が創刊されました（前身は戦前に発行された『自蹊会会報』）。新装とは名ばかりの、粗末なA5判16ページの冊子でした。創業者・市村清は「創刊の言葉」として次のように述べています。

「互に人類に対する愛を深め、祖国への真の愛情を育み、各自のもつ本業への熱意を他を省ることによって高めたいものと念ずる。本誌の目的はこの他にない。」

『三愛』は49年に一時休刊となり、54年に『San-ai』と改称して復刊。さらに、86年に『三愛会会誌』と改称して、今回、三愛会創立70周年記念号（157号）を発行するに至りました。表紙や内容も時代とともに変遷しており、バックナンバーはグループの歴史書的存在といえましょう。



『三愛』第1号
(1946.12)



『San-ai』第1号
(1954.4)



『三愛会会誌』第1号
(1986.5)

5
1944
(昭19)

リコー三愛グループ物故者合同慰霊法要

亡くなった社員を偲び、感謝の意を捧げる

戦争で亡くなった社員を含め、会社のために尽くしてくれた物故社員の霊前に感謝の気持ちを捧げたいという創業者・市村清の発意から、1944年11月21日、第1回物故者合同慰霊法要が東京・築地本願寺で営まれました。

参列者は市村、各社重役、従業員代表など約850人。導師以下二十余名の衆僧の読経の中、市村は涙ながらに物故者の名前を読み上げ、遺族席からもすすり泣きの声が聞こえたのでした。

慰霊祭は以後しばらく途絶えましたが、67年3月に東京・増上寺において再開されました。

6
1968
(昭43)

創業者・市村清 逝く

葬儀・告別式が築地本願寺で厳かに行われる

1968年12月16日午前7時13分、創業者・市村清が急性肝萎縮症のため逝去。東京体育館で開催された合同運動会に夫婦で姿を現したのが、わずかひと月前のことでしたから、急逝の報に接した社員たちの驚きは想像に難くありません。

12月20日、三愛会各社の合同主催による葬儀・告別式が築地本願寺で行われました。祭壇の遺影のまわりは紫のバラと黄色のバラで囲まれ、その外側は12,500本の白い菊で飾られました。



市村清生誕100年記念式典の様（2000.4.4）

葬儀委員長は前経団連会長石坂泰三氏、ご参列者は三笠宮宣仁親王殿下、佐藤栄作首相ご夫妻、近衛忠輝・甯子ご夫妻をはじめ各界の名士、知人など多数で、広い境内に入れず歩道にまで並んだ会葬者は7,000余人、寄せられた弔電も3,000余通を数えました。

市村清生誕100年にあたる2000年4月4日、リコー大森事業所ホールにおいて、来賓、OB・OG、各会員会社社長をはじめ、関係者400余人が集まり、記念式典を開催。『三愛会会誌』でも2号にわたり特集が組まれました。

なお、市村家の墓所は東京・賢崇寺にあり、市村夫妻の分骨が京都・西本願寺大谷本廟に納められています。

7 リコー三愛グループ合同運動会

社員と家族が集い、楽しいひとときを

1962
(昭37)

1962年10月10日、理研光学の砧総合グラウンド開きを記念した、三愛会総合大運動会が行われました。参加企業8社、参加者は社員と家族合わせて4,400名という、文字通りの大運動会で、各社対抗のリレーに熱い声援が送られ、仮装行列では傑作、珍作の続出に満場が笑いの渦に包まれました。

68年11月5日、東京体育館において、東京地区の社員、家族6,000名と来賓200名の大運動会が盛大に催されました。

創業者・市村清も夫人を伴って観戦、「きのうまで病床に伏せていたのですが、この運動会は私がぜひやりたいと言いついたものですから、こうしてちゃんとやってきました」と笑顔で挨拶しましたが、これが市村の、社員たちに見せた最後の姿となりました。



仮装行列に奮闘する市村 (1962.10.10)



社員たちに見せた市村の最後の姿 (1968.11.5)

8 教養講座 (カルチャーセンター) を実施 三愛新書を発行

社員たちの教養を高めるツールとして

1975
(昭50)

1975年4月、部課長クラスを対象とした教養講座「三愛会カルチャーセンター」を開設。第1回は『梅干しと日本人』の著者である樋口清之(国学院大学教授)、第2回は自然人類学の権威である埴原和郎(東京大学教授)。以降、年数回、さまざまな分野から著名な講師を招き、2015年までに300回余を開催してきました。

76年、カルチャーセンターの講演録として三愛新書『人間と文化』シリーズを発刊、さらに、『茨と虹と』『そのものを狙うな』をはじめとする創業者・市村清関連著書の復刻版などを発行してきました。



三愛新書
『人間と文化』
第1集

9 グループで大阪万博に出展

リコー三愛グループのアイデアと技術を結集

1970
(昭45)

1970年3月、リコー三愛グループは大阪万国博覧会に、「理光 — よりよき人類の眼」をテーマに「リコー館」を出展しました。

テーマは、創業者・市村清の「絶対に人まねでない創造であれ」との指示の下、練られ、展示内容はリコー三愛グループ各社のアイデアと技術を結集したものでした。



奇抜なアイデアとユニークさが光るリコー館

光が変化する大気球「天の眼」、外壁がすべて表示装置である円筒形建物「地の眼」、建物内部の光と音の空間「心の眼」など、ユニークな光の技術を取り入れたさまざまな展示物は、多くの来場者に驚きと感動を与えました。

なお、大阪万博への出展は、67年4月に市村自ら申し込んだもので、出展申し込み第1号となりました。

10 社友会が発足

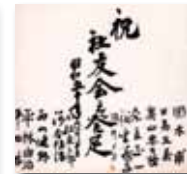
OB・OGたちが集い、シニアライフをエンジョイ

1975
(昭50)

1975年6月、社友会が発足。リコー三愛グループ企業に永年勤務し、定年退職した人たちが、旧友との親睦や出身会社社員との交わり、会員相互の結束を図ることを目的に誕生しました。



総会風景



発足時の寄せ書き



ビアパーティーの模様

11

各地区に三愛会支部が発足

地域におけるグループ企業間の友好と協力を高める

1978
(昭53)

1978年秋、三愛会加入会社が100社を超えました。これを機に、日本全国に散らばるリコー三愛グループ各会員会社相互の友好と協力を高めるため、8地区に支部が設置されました。

支部の運営は選出された支部長に一任され、現在、北海道、東北、東京、神奈川・東静岡、中部、近畿、中国、九州の8地区が活動しています。



創業者法要（近畿支部）

12

『リコー三愛グループ案内』を発行

リコー三愛グループおよび三愛会の活動を紹介

2008
(平20)



2008年3月、リコー三愛グループのイメージアップを図るため、『リコー三愛グループ案内』が創刊されました。この冊子には、グループ企業や団体、三愛会の紹介、創業者・市村清の年譜などが掲載されています。



新年会（九州支部）

14

ヤング三愛会がスタート

グループの若い社員たちの集う場をつくろう

1990
(平2)

「三愛会という家族の一員であることを確認し、企業を超えて交流を深めよう」という趣旨で、若い社員たちを対象に始まったヤング三愛会。

1990年7月、東京地区で開催された「第1回サマーパーティー」には500人近い男女が集い、大盛り上がりを見せました。

その後、ビアパーティー、異文化交流会、研修会、スキーツアー、テニス大会などが開催され、若い社員たちの絆を深める場となりました。



ヤング三愛会ビアパーティー（2012）

13

リコー三愛グループ合同入社式

大きく自分をのばせ そこに生きがいがある

1965
(昭40)

1965年4月7日、リコー大森事業所本社において、第1回合同入社式が挙行されました。リコー三愛グループの新入社員1,583名のうち293名が出席。創業者・市村清は「大きく自分をのばせ、そこに生きがいがある」と祝辞を述べました。

83年からは、合同入社式・新入社員歓迎会は明治神宮会館を会場として95年まで続けられました。



第1回合同入社式（1965.4.7）

15

三愛会全国ボウリング大会を開催

全国のグループ社員をつなぐ絆

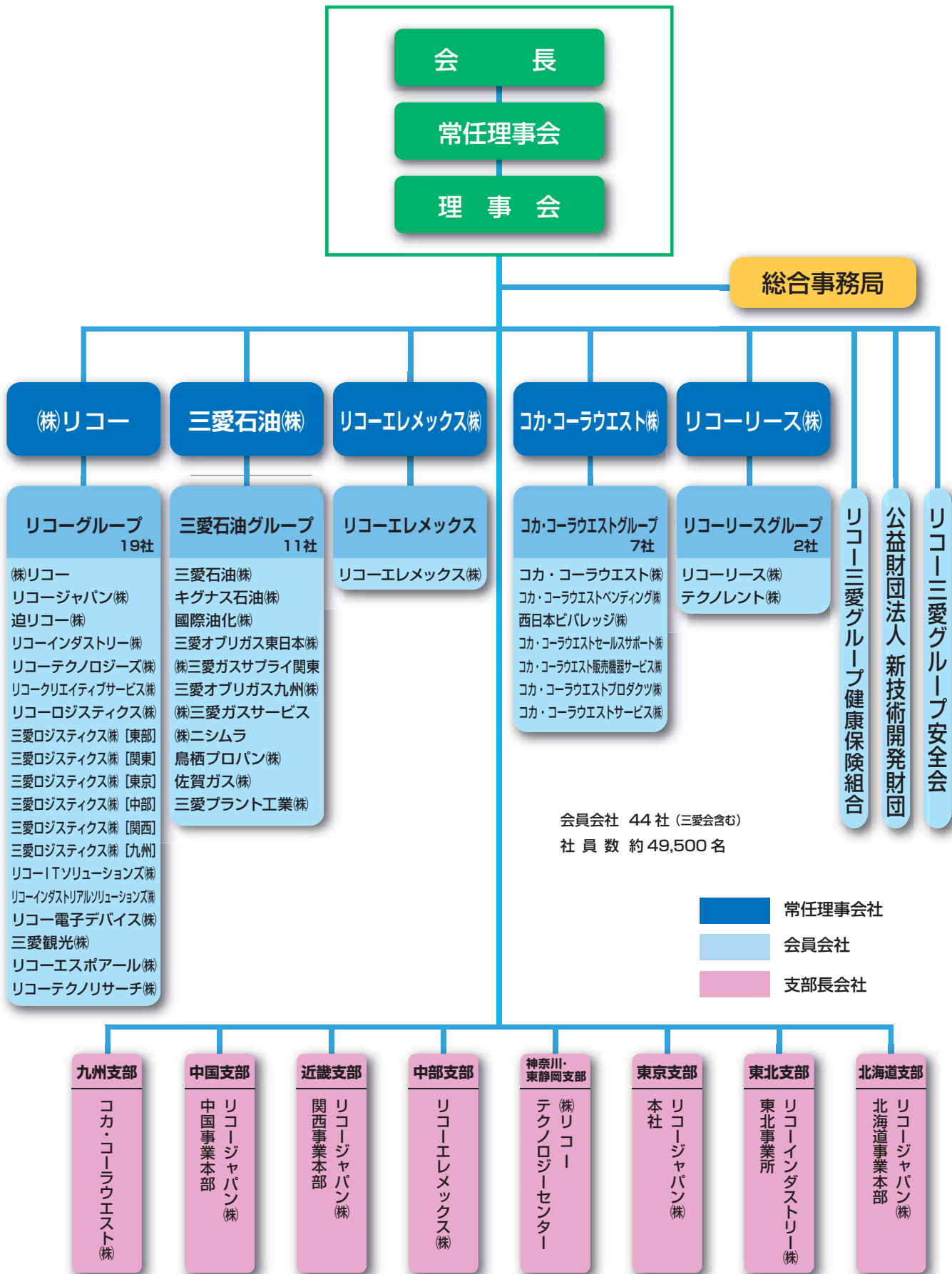
1993
(平5)

北は北海道から南は沖縄まで、全国に広がるグループ社員55,000人余を結ぶ何かがある、でも、一堂に会するのは大変。そんな思いから企画されたのが「全国ボウリング大会」です。

1993年度に開催された第1回大会の参加者は予想をはるかに上回る2,044人でした。

最後の開催となった2010年度第19回の成績発表の時期に、東日本大震災が発生。「飛び賞」に入賞された方のほとんどが、賞品の「いろはす」を被災地の支援品にと寄付されたことが特記として残っています。

三菱会組織図

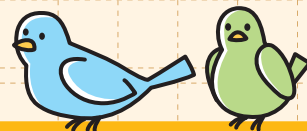


三愛会
創立70周年
記念

リコー三愛グループの皆さま

作文大募集のお知らせ

三愛会は、創立70周年を迎えました。その記念の一環として作文を募集します。リコー三愛グループの創業者・市村清と、市村が提唱した「三愛精神」について考える機会として思いをつづってみませんか？ 皆さまからの多数のご応募をお待ちしています。



応募要領

テーマ①「市村清とわたし」

テーマ②「わたしにとっての三愛精神」

(いずれか一つを選択)

応募方法 600～800字以内（原稿用紙、ワードなど） 下記アドレスにお送りください

応募資格 三愛会会員会社社員・役員（会社名・氏名は必須）

採用 入選 1点（各テーマごと）…1万円の図書カードを進呈

佳作 数点（各テーマごと）…5千円の図書カードを進呈

その他、応募者全員に千円の図書カードを進呈

発表・掲載 本誌次号 および 三愛会ホームページに掲載

審査方法 常任理事会 三愛会担当責任者 および 三愛会事務局 で選考

締切 **2016年7月15日（金）**

* 作品の著作権は三愛会に属し、それ以外の目的での使用はいたしません



応募先・問い合わせ先（三愛会事務局）

RSGP@san-ai-kai.jp



リコー

リコーが、創業 80 周年を迎えました

リコーは 2016 年 2 月 6 日に、創業 80 周年を迎えました。1936 (昭和 11) 年に、リコーの前身である理研感光紙株式会社が生誕。そこからリコーの歴史が始まりました。

そして、1938 (昭和 13) 年 3 月、理研光学工業株式会社 (理研光学) に社名を改め、感光紙部門の充実とともに光学機器、航空部門、測量機、時計、カメラなどの分野に事業展開してきました。

25 年後の 1963 (昭和 38) 年 4 月には、理研光学は株式会社リコーに社名を変更。当時、一世を風靡したリコーオートハーフなどの大衆向けカメラや、リコピーをはじめとした複写

機には、「RICOH」の名が刻まれていました。それからさらに 53 年、イノベーションを繰り返して、従業員約 11 万人の企業グループへと成長してきました。

これまで大きな成長・発展を遂げてきたリコーの 80 年間の振り返る場として、2016 年 2 月 5 日、「RICOH INNOVATION GALLERY」(RIG) を神奈川県海老名市のリコーテクノロジーセンター・C 棟 1 階にオープンしました。RIG は、どなたでもご覧いただける展示コーナーとして、リコーの DNA を受け継いだイノベーションの足跡である歴史的名機の数々を実物展示しています。



リコーオートハーフ
(1962 年 11 月発売)



電子リコピー BS-1 (1965 年 9 月発売)



RICOH INNOVATION GALLERY

リコー

2015 年度「リコーウェイ表彰制度」全社表彰式を開催

「リコーウェイ表彰制度」の初の全社表彰式が 2015 年 12 月 2 日、リコー大森事業所にて開催されました。

これまでグループ従業員を表彰してきた「みのり賞」を発展的に改訂し、リコーウェイ表彰制度としてスタートしました。リコーグループ全従業員共通の理念であるリコーウェイ*1 を体現している活動を称賛するこの制度を通じ、リコーグループ全体で、“新しい顧客価値”の創造と、“認めあい褒めあう”企業文化の醸成を図っていきます。

式典では、各部門・各社表彰から機能別選考を経て、リコーグループ全社表彰に推薦されたテーマの中から、GMC*2 選考によって決定された「リコーウェイエクセレンス・アワード」8 テーマのプレゼンテーションが各テーマの代表者から行われました。プレゼンテーション後、GMC メンバーによる「リコーウェイエクセレンス・アワード大賞」の審議が行われ、Ricoh UK Products Ltd. (英国の生産関連会社) と Ricoh Europe (欧州極の販売統括会社) の「Ricoh European Customer Experience Centre」が大賞に輝きました。

リコー三浦善司社長から一人ひとりの受賞者に表彰状、トロフィーが授与され、称賛の言葉が贈られました。



リコー大森事業所・本館ホールで開催された表彰式の様子

*1 リコーグループの事業活動の基礎となる普遍的な理念で、創業の精神である三愛精神と経営理念のことを言います。また、経営理念は「私たちの使命」「私たちの目指す姿」「私たちの価値観」で構成されています。

*2 Group Management Committee の略

リコージャパン

「RICOH JAPAN T1 Grand-Prix 2015」全国大会開催

2015年12月11日、「RICOH JAPAN T1 Grand-Prix 2015」全国大会が開催されました。

この大会は、リコーグループのサービス部門における「競い合いと賞賛の場」として、テクニカルスキルを競い合い、技術力・提案力・解決力の研鑽^{けんさん}およびモチベーション向上を目的としています。

リコージャパン (RJ)、ご販売店を合わせて約 6,000 名の CE (カスタマーエンジニア) の中から、地域大会を勝ち抜いた精鋭 38 名が、カラー PPC 部門 (ご販売店コース/RJ コース)、サーバー・ネットワーク部門 (RJ コース)、PP 部門 (RJ コース)

の 3 つの部門 (4 つのコース) で競い合いました。

C1 電話応対コンクールの最優秀者がお客さまからの修理依頼の電話応対を披露する場面から始まり、競技がスタート。85 分にわたる熱戦ののち、各コース上位 3 名が「グランプリ」「準グランプリ」「第 3 位」として表彰され、表彰状とメダルが授与されました。

最優秀ご販売店コースは福島リコピー販売株式会社様、最優秀事業本部は首都圏事業本部が受賞しました。また、サービス検定試験の成績優秀者の表彰、SE (システムエンジニア) 最優秀事例の発表、表彰も行われました。



カラー PPC 部門表彰



サーバー・ネットワーク部門表彰



PP 部門表彰

リコージャパン

スマート社会の実現に向け、電力小売事業に本格参入しました

リコージャパンは、スマート社会の実現に向けたサービス事業強化の一環として、電力小売事業に本格参入しました。2015年9月から関東、関西地域で高圧電力の販売を行ってきましたが、2016年1月から販売地域を中部、東北、九州に拡大し、4月の電力小売完全自由化に向けて、低圧電力の販売も検討しています。

リコージャパンでは、電力小売に先駆けて太陽光発電 O&M サービスを立ち上げ、全国に展開しています。

これは、当社の強みであるオフィス向けの IT サービス事業で培ってきた 24 時間 365 日対応で遠隔監視を行うセンターサービスと、全国を網羅するオンサイトサービスのリソースやノウハウを活用して実現しているものです。

全国に広がる販売・サービス網を活用し、大規模な工場や事業所だけでなく、中小規模の事業所や店舗に対しても新電力への切り替えを提案します。電力使用量を可視化して効率的な運用を行うためのエネルギー管理システム (EMS) や、LED 照明、省エネ性能の高い空調や複合機等を合わせてワンストップで提供することで、効率的な運用による電力使用量の抑制を図り、電気料金のさらなる低減と CO₂ 排出量の削減を提案します。

今後もスマート社会の実現に向けたさまざまなサービス事業を展開し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

リコー

RTC 研究開発棟の起工式を挙行

リコーは 2016 年 1 月 15 日、リコーテクノロジーセンター (RTC) で研究開発棟の起工式を執り行いました。

当日はリコー近藤史朗会長、三浦善司社長はじめ関係役員、建設関係者の皆さまなど約 50 人が式典 (神事) に出席しました。

研究開発棟は、将来を担う未来の事業につながる独自技術の獲得や、技術の融合による新規価値の創出の強化・継続を狙いとして建設されます。リコーとして約 5 年ぶりの国内新規建設案件で工期は約 1 年。2017 年 1 月末に完成する予定です。

RTC は 2005 年 8 月に開設したリコーの主力開発拠点で、それまでリコー大森事業所、厚木事業所などに分散していた複合機やプリンターの開発・生産技術部門を集結させました。2010 年 8 月には 23 階建ての C 棟を建設、ソフトウェア開発部門、インクジェット技術開発部門などを一カ所に集中させました。そして今回新設する研究開発棟によって、国内の既存事業領域における最先端技術開発や将来を担う事業につながる独自技術開発部門の一部を RTC 内にまとめ、さらなる進化を目指します。



礎入れをするリコー 近藤会長 (左) と 三浦社長



研究開発棟の外観 (イメージ)

リコーITソリューションズ ETロボコン快挙の2チーム 沖縄で魅力をアピール

リコーITソリューションズ（RITS）では、若手技術者育成のため、ETロボコン競技への社員の自主的なチャレンジを支援しています。

昨年開催されたETロボコン2015チャンピオンシップ大会では、札幌事業所から参加した「ガラナエクスプレス」がプライマリークラスで優勝・IPA賞受賞、「Champagne Fight」がアドバンストクラスでモデル審査技能賞を受賞しました。

この快挙を受け、1月22日と23日に開催された沖縄最大級のITの祭典「IT津梁まつり2016」に2チームのメンバーが招待されました。イベントの中でレースに出場した両チームは、圧倒的なスピードや戦略で会場を大いに沸かせ、子供から大人まで幅広い世代の方にETロボコンの魅力をアピールしました。

さらに、技術やプロジェクト管理についてプレゼンテーションし、「どうしたらあんなに速く走ることができるのか?」「チーム運営のコツは?」など、ETロボコンに取り組んでいる学生たちからの多くの質問に答えました。



同一の車体を使ってそれに組み込むソフト設計の技術を競う（プライマリークラスの車体）



ガラナエクスプレス（左）、Champagne Fight（中央）、RITS 森田社長（右）

リコークリエイティブサービス リコー三愛グループ従業員のための生活支援サイト 「RnAVI」をご活用ください！

リコークリエイティブサービスが運営する生活支援サイト「RnAVI」（<http://www.rnavi.com>）は、リコー三愛グループに従事されているすべての従業員さま、ご家族さまの生活をサポートしている専用サイトです。

《RnAVI 主要コンテンツ》

- 提携企業さまの優待サイトが充実
本の買い取り、映画チケット、旅行グッズ・お土産、飲食品、電化製品、車、衣料品、お花、引っ越し、冠婚葬祭等、リコー三愛グループ従業員だからこそ利用できる優待・優遇サービスが満載です。
- 自社製品がお買い得
デジタルカメラ、レンズ、双眼鏡、時計、健康機器等、リコーコンシューマ向けの自社製品が社販特別価格で大変お買い得です。
- 各種保険をご案内
からだ保険（生命・医療・傷害・がん）、車保険、もの保険（損害・賠償）はもちろん、火災保険、レジャー保険等、皆さまの生活をサポートする各種保険をお取り扱いしています。



RnAVI トップページ <http://www.rnavi.com/>

＜お問い合わせ先＞
リコークリエイティブサービス
ライフサポート事業部
厚生サポート部
厚生サービスグループ
青木まで

☎ 050 (3814) 9189
FAX 03 (5742) 2844

リコークリエイティブサービス ご存じですか？ リコー三愛グループ 「住宅取得優遇制度」

リコー三愛グループの皆さまが、提携会社から住宅を購入・建築・リフォーム等をする場合、割引などの特典を受けることができます。

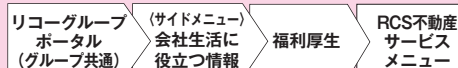
例えばこんな特典

注文住宅 2,000 万円で購入 3%割引なら 60 万円お得!!	新築マンション 4,000 万円購入 1%割引なら 40 万円お得!!
持家を 3,000 万円で購入 仲介手数料 20%割引なら 19.2 万円お得!!	持家を 300 万円で購入 3%割引なら 9 万円お得!!

* ご利用には、提携会社へのお問い合わせの前に必ず紹介カードを発行してください。

詳細・紹介カード発行はこちら

NotesDB「RCS不動産サービスメニュー」



または 生活支援サイト「RnAVI」
(<http://www.rnavi.com/>)

＜お問い合わせ先＞
リコークリエイティブサービス
統合 FM 事業本部 CRE 部
アセットコンサルティンググループ
☎ 050 (3814) 3512

リコー

ジャパンラグビー トップリーグ 2015-2016 シーズン終了

リコーブラックラムズ（リコーラグビー部）は1月23日、トップリーグ最終節コカ・コーラレッドスパークス戦に勝利し、シーズン通算2勝8敗（最終順位13位）で入替戦へと臨みました。

1月30日、トップリーグ残留を懸けた入替戦では、昇格を目指す大阪府警察の低いタックルに苦戦しつつも、今季最多となる76得点を挙げて勝利し、来季のトップリーグ残留を決めました。シーズン序盤は熱戦を演じるも勝ち星に恵まれませんでした。復調の兆しを見せた終盤を3連勝で締めくくりました。

シーズンを通し、たくさんのご声援をいただきありがとうございました。

リコーラグビー部の最新情報や試合の予定、結果はリコーラグビー部公式webサイトをご覧ください。
<http://www.ricoh.com/ja/rugby/>



大阪府警察のディフェンスを振り切りトライを決めた渡邊昌紀選手



トップリーグ残留を決め、スタンドへあいさつをする選手団

リコーエレメックス

国際画像機器展 2015、SURTECH2016 表面技術要素展に出展

2015年12月2日から3日間にわたり、パシフィコ横浜で開催された「国際画像機器展 2015」に外観画像検査装置を出展しました。

特殊な照明を使用し、カメラを昇降しながらワークを載せた台座を回転させて内面全体を撮像する方式を採用し、不良検出率を高めた円筒金属部品内面検査装置や、汎用の検査装置が苦手としていた油付き金属部品や金属部品の内部欠損（クラック、巣、異物など）に強い磁気センシング装置、当社と東京大学、高知工科大学との共同研究で開発した時間相関技術に応用した立体曲面塗装外観検査システムをPRしました。

また、2016年1月27日から3日間にわたり、東京ビッグサイトで開催された「SURTECH 2016 表面技術要素展」に出展し、画像処理速度を従来機比で10倍に高め、複数のワークの同時検査を可能にし、生産ラインへの組み込みを想定した新しい塗装曲面外観検査装置のデモ機を展示しました。

両展示会とも途切れることなく来場者が当社ブースを訪れ、注目を集めていました。



リコーエレメックスの展示ブースの様子

リコーエレメックス

女性組織長が女性活躍推進フォーラムでパネラーとして討論

2015年12月10日、愛知県名古屋市内のウインクあいちで「女性活躍推進フォーラム」が開催され、当社の情報機器事業本部 生産部の曾我部長、吉村グループリーダーがパネラーとして登壇しました。

このフォーラムは各コーナーを「発信」「対談」「提言」と題した3部構成で、女性活躍推進に高い関心を持つ、もの作り企業の具体的な実践を支援することを目的としています。

曾我部長と吉村グループリーダーは「第1部：発信」で講演した神奈川大学・浅海教授が以前に行った女性管理監督者についての調査でインタビューを受けたことをきっかけに「第2部：対談」のパネラーとして選出されました。吉村グループリーダーは自らの経歴を振り返りながら指導的立場になるまでのキャリアを述べ、曾我部長は部下育成や会社・上司のマネジメントなどについて意見を述べました。

対談後には多くの聴講者から「経験に基づいた貴重な意見を聞くことができ、大変参考になりました」との言葉をいただき、好評を博しました。



パネラーとして壇上に登る曾我部長（左）と吉村グループリーダー

リコーリース

「健康経営銘柄 2016」初選定・「プラチナくるみん」認定取得

1月21日、リコーリースは「健康経営銘柄 2016」に選定されました。本選定は、東証上場企業の中から、社員の健康増進を経営課題として取り組む企業を5つの側面から評価する制度。当社は社員の健康保持・増進に向けての理念・方針、取り組み等が評価され初選定となりました。

また、2015年12月21日、東京労働局長より『プラチナくるみん』の認定を取得しました。この認定は、従来子育てサポート企業としてくるみんの認定を受けた企業のうち、より高い水準で仕事と育児の両立支援の取り組みを行った企業を認定する制度です。

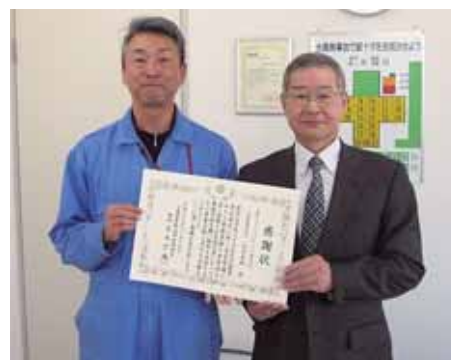
リコーリースは、すべての社員が健康で生き生きと働ける職場環境の実現に向け、これからも積極的に推進してまいります。



三菱アビエーションサービス（三菱石油グループ） 茨城県警察より感謝状を受領

2015年12月7日、三菱石油のグループ会社である三菱アビエーションサービスは、同年9月に発生した関東・東北豪雨に伴う茨城県常総市での水害に際し、警察用航空機に燃料を供給するなど、警察の救助活動に貢献したことが評価され、茨城県警察本部より感謝状が贈呈されました。

水害発生からの3日間、茨城県警察と各県警察の災害派遣隊は、ヘリコプターによる上空からの救助活動を実施し、184名の被災者が救助されました。茨城県警察からの要請を受けた三菱アビエーションサービス 茨城空港営業所は、臨時基地に指定された茨城空港において、被災地へ向かう各県警察のヘリコプターへの燃料供給に協力。同営業所の総員5名は、通常業務を遂行しつつ、計25機のヘリコプターへの燃料供給を迅速かつ的確に実施しました。



茨城県警察本部 地域部地域課航空隊技佐 伊東博也氏（右）と 三菱アビエーションサービス 夏目所長

コカ・コーラウエスト

コカ・コーラレッドスパークスラグビー部 悔しさの残るトップリーグ残留

2015年11月14日のNTTドコモレッドハリケーンズ戦を皮切りに始まったジャパンラグビートップリーグ2015-2016。目標を“トップ8以上”に掲げ、全国の強豪チームとの戦いを繰り広げましたが、結果は16チーム中14位となり、3シーズン連続で入替戦に回るという悔しい結果。また、2016年1月30日に行われた入替戦で同じ福岡市東区に練習拠点を置く、九州電力キューデンヴォルテクスを相手に14-14と引き分けに終わり、リーグ規定により辛くも残留することができました。

来シーズンは、この悔しさをバネに、応援いただいている皆さまに一つでも多く勝利をお届けできるよう、チーム一丸となって戦いますので、これからもご声援よろしくお願いたします。



山下キャプテンを労う久保顧問



相手の気迫あるタックルに苦しむも何とか残留（入替戦にて）

各支部で新年会、総会を開催

2016年の新年会および総会・懇親会が各支部にて開催されました。

中部支部

1月19日(火)、中部支部の総会がリコージャパンの会議室にて開催され、幹部11名が参加しました。また、総会終了後は会場を移して懇親会が開催されました。



近畿支部

1月28日(木)、幹部社員18名が参加し、リコージャパンにおいて総会を、大阪第一ホテルにおいて懇親会が開催されました。



東京支部

1月7日(木)、銀座東武ホテルにおいて15社99名の幹部が参加して新年会が開催されました。



東北支部

1月20日(水)、仙台市内の「東北三味みちのく邸」に幹部15名が集い、新年会が開催されました。



九州支部

1月29日(金)、福岡市内の「八仙閣」にて幹部社員が参加して新年会が開催されました。



神奈川・東静岡支部

1月22日(金)、第1部としてオープンしたばかりのリコーフューチャーハウス見学会を、場所を移し、第2部として新年懇親会を37名の幹部社員が参加して開催されました。



中国支部

2月5日(金)、定例総会と賀詞交歓会が各社幹部社員出席のもと開催されました。



三愛会 創立70周年記念

三愛新書『市村清実践哲学』を12月に刊行!



(イメージ)

創業者・市村清は数々の言葉を私たちに遺してくれました。

1969年12月の市村一周忌にあたり、三愛会は“市村語録”の中から私たちリコー三愛グループの社員にとって指針となるものを選び、機関誌『San-ai 第62号』として『市村清実践哲学』を発行しました。

今年12月、新装版・三愛新書『市村清実践哲学』を刊行することになりました。

若手社員のみならず、中堅社員や役員の方々も、三愛精神や市村の行跡を再認識し、次代に継承していくためのバイブルとして、ぜひご活用ください。

- 主な内容 「市村清の人間形成」 「市村清の販売法」 「市村清の人使い」 「市村清の発想法」 「市村清の経営理念」 「市村清の人生観」 「市村清の処世法」

(『市村清実践哲学』 San-ai 第62号より)

*発行日や頒価、お求め方法等の詳細は、決定次第、三愛会ホームページにてお知らせします。

各支部でボウリング大会開催

近畿支部

2015年12月19日、社員とご家族を含めた総勢99名の皆さんが参加して、今年も三愛会近畿支部ボウリング大会が開催されました。

大会後の懇親会も大いに盛り上がり、職場の仲間やご家族と楽しい時間を過ごしました。



北海道支部

2016年1月から2月の期間で、今年も三愛会北海道支部ボウリング大会が開催されました。

300名を超える社員の皆さんに参加していただき、楽しいひとときを過ごしました。



三愛会カレンダー (2016年4月~12月)

2016年3月1日現在での予定

三愛会全体	支部
4月4日 三愛会創立記念日 三愛会会誌 第157号発行	4月 近畿支部 京都法要 東京支部 総会
5月 愛の手委員会	5月 中部支部 幹部懇親会
9月 第244回三愛会理事会 第53回三愛会常任理事会	7月 神奈川・東静岡支部 総会 東京支部 サマービアパーティー
12月 愛の手募金強化月間 三愛新書『市村清実践哲学』刊行	8月 東京支部 幹部懇親ビアパーティー 北海道支部 サマービアパーティー 12月 近畿支部 ボウリング大会

「愛の手募金」のご報告と御礼

2015年度の愛の手募金は、総額1,944万9,592円となりました。グループ社員の皆さまにはご協力をいただきありがとうございますございました。

また、愛の手推進委員と実行委員の皆さまにはご尽力をいただきありがとうございますございました。皆さまから寄せられたご厚志は、年末プレゼントとして2,060万円を遺児、重度の障がい児、障がい社員の子供たち206名に贈ることができました。

ご協力くださった社員の皆さまお一人おひとりに感謝してご報告いたします。

編集後記

本誌は三愛会創立70周年記念号として、通常の7月発行を繰り上げ、創立記念日である4月4日に発行しました。また、これを機に、A4判・フルカラーに生まれ変わりましたが、いかがでしたか。

さらに記念活動の一環として、グループ社員の皆さんから「市村清とわたし」と「わたしにとっての三愛精神」というテーマで作文の募集もいたします。

三愛精神にのっとり日頃心掛けていることや仕事を進める上で意識していること、部下に伝えていること、もしくは、市村清について心に残っているエピソードや好きな言葉など、内容はどんなものでも構いません。

あなたの思いをぜひつづつみてみてください。たくさんのご応募をお待ちしています。(イシノ記)

三愛会会誌 編集委員

長倉西山樫久	保田敏規
澤田村本田	(リコー)
真元将江	(三愛石油)
弓子充里彩	(リコーエレクトロニクス)
	(リコー)
	(リコーリース)
	(リコーエレクトロニクス)
	(リコークリエイティブサービス)



RICOH
imagine. change.

360°の世界を、
驚きの美しさで。



360° experience.



静止画もムービーも。
空間をワンショットで切り撮る、ハイスペックモデル。

- 高画質
- Full HD 動画撮影^{*1}
- HD Live ストリーミング^{*2}
- Live ビュー (10fps)^{*3}
- 長時間露光 (最長60秒)^{*3}
- 8 GB メモリー

全天球カメラ
RICOH THETA S

theta360.com

*1 記録されるデータの解像度はフルHD(1920×1080)ですが、全天球動画撮影時の解像度は表示するディスプレイや表示拡大率によって異なります。 *2 デュアルフィッシュアイ出力 USB接続時 *3 基本アプリ RICOH THETA S利用

お客様相談センター ●受付時間:平日(月~金) 9時~17時30分 土日、祝祭日10時~17時 *年末年始およびビルの施設点検日は休業。
ナビダイヤル ☎0570-001313 *ナビダイヤルは、市内通話料金でご利用いただけます。*ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-4330-0008をご
利用ください。*お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

株式会社リコー
〒104-8222 東京都中央区銀座8-13-1